

第7回 教育関連学会連絡協議会総会・議事要旨

日 時：2019年3月16日（土）13～14：00

場 所：学習院大学 南3号館301教室

出席： 33団体

欠席： 31団体（委任状31通）

出席+委任状=64

（入会・退会承認待ち：5団体、出欠未回答：2団体）

<議事次第>

報告事項

1. 活動報告（今年度の活動報告）

- ・佐藤委員長より会務報告（別紙）がなされた。

2. WERA 東京大会について

- ・世界50カ国より500件近くの発表申し込みがあり、また約500名の参加が予想される。
- ・所属学会の世界教育学会（WERA）東京大会への同時通訳付での参加申し込み〆切を3月末日に延長することとなった。

3. 本日のシンポジウムについて（資料1）

- ・「教育学教育のあり方と教職課程カリキュラムの再検討-教育学分野の参照基準の作成に向けて-」をテーマとして開催する。

4. その他

- ・特になし。

審議事項

1. 2018年度会計報告（資料2）

- ・本件について承認された。

2. 活動方針について（次年度の活動計画）

- ・協議会の財産の有効利用の検討。大型予算をつけた計画の検討をしたい。
（来年度のシンポジウムではビッグデータなど情報に関わるもの等を検討）

3. 新規の加盟・退会申請

<新規加盟>

○大学教育学会（2018年3月27日申請）

○日本教育心理学会（2018年11月15日申請）

<退会>

○日本物理教育学会（2018年4月4日申請）

○日本学習社会学会（2018年10月1日申請）

○日本国際教育学会（2019年1月22日申請）

（2団体加盟、3団体退会、計68団体）

・本件について承認された。

・大学教育学会・松下佳代先生、教育心理学会・志水宏吉先生より新規加盟の挨拶があった。

4. 運営委員の交代

深澤広明委員 → 子安潤先生（日本教育方法学会の代表理事交代に伴う）

・本件について2019年3月16日付の交代として承認された。

5. その他

・次回運営委員会までにご意見等あれば協議会までいただきたい。

・次回運営委員会日程 2019年8月6日（火）17:00～18:00 於学習院大学

・次々回運営委員会日程 2020年3月14日（土）12:00～13:00

総会日程 2020年3月14日（土）13:00～14:30

シンポジウム日程 2020年3月14日（土）14:30～17:00

全て於学習院大学

<資料>

1. シンポジウム・ポスター

2. 会計報告書

以上

第7回 教育関連学会連絡協議会・会務報告

佐藤 学 (代表)

志水宏吉 (事務局長)

1. 第三期第二回運営委員会を開催した。

日時：2018年8月27日(月) 12:00～14:00

場所：学習院大学北一号館2階 教育学科共同研究室

出席者(9名)：佐藤学(委員長)、志水宏吉(事務局長)、米田俊彦、今井康雄、松下佳代、小玉重夫、大桃敏行、吉田文、和井田節子(高野和子代理出席) 欠席者(3名)：深澤広明、池野範男、汐見稔幸

1. 会の現況について(資料) ○加盟学会数69団体(2018年8月27日現在) ○委員長より、規約・内規について、および運営委員会・総会について新運営委員に説明した。

2. 活動方針について(次年度の計画) ○大型予算を使った企画を立てるのが懸案となっているが、現状では未定である。

3. WERA 東京大会への参加について ○関連協としての WERA 東京大会への参加を計画している。同時通訳のつく部屋を2つ(3日間で6～7部会、各2時間半)を設定する。前回総会では所属学会は同時通訳料50万円を支払うことで使用可能としたが、それを30万円とする(応募締め切りは3月末日)。採用可否は WERA 本体が行う。採用数が多い場合は、同時通訳がつけられるかは関連協運営委員会で選ぶ。募集は2018年10月1日の大会ホームページ開設と同時に始める。

4. 3月総会のシンポジウムについて決定した。

○日程：3月16日(土) 12:00～13:00

運営委員会 13:00～14:30

総会 14:30～17:00 シンポジウム

会場：学習院大学

テーマ：「教育学教育のあり方と教職課程コアカリキュラムの再検討 -教育学分野の参照基準の作成に向けて-」

登壇者：参照基準の全体構想(松下佳代) コアカリキュラムの課題(油布佐和子)

参照基準の活用法(深堀聰子)

司会：吉田文

教育学教育のあり方と 教職課程カリキュラムの再検討 —教育学分野の参照基準の作成に向けて—

報告：「教育学分野の参照基準の全体構想」

松下佳代（京都大学高等教育研究開発推進センター教授）

「教職課程コアカリキュラムの課題」

油布佐和子（早稲田大学教育・総合科学学術院教授）

「教育学分野の参照基準の活用法」

深堀聰子（九州大学教育改革推進本部教授）

司会：吉田文（早稲田大学教育・総合科学学術院教授、大学総合研究センター副所長）

2019年 3月16日(土) 14:30～17:00

会場：学習院大学 南3号館301教室

※どなたでも自由に参加できます。

日本学術会議では、2008年以来、大学教育の分野別質保証について議論を重ねており、現在までに「分野別の教育課程編成上の参照基準」が31分野で作成・公表されています。しかし、教育学分野は、いまだ公表にいたっていない、残された数少ない分野の一つとなっています。一方で、教員養成についてはすでに文部科学省によって「教職課程コアカリキュラム」が作成・運用されています。

そのような状況のなかで、2017年12月、日本学術会議内に「教育学分野の参照基準検討分科会」が設置され、このたび第一次案を公開できる運びとなりました。

本シンポジウムは、この第一次案を議論の俎上に乗せ、意見交換を行うことを目的とするものです。あわせて、参照基準との関連において、教職課程コアカリキュラムの課題についても議論を行います。教育学や教員養成に関心のあるみなさま、どうか奮ってご参加ください。

教育関連学会連絡協議会 2018年度会計報告 (2019年3月16日現在)

(単位:円)

	費目	金額	備考
収入の部			
	2017年度より繰越	1,269,423	
	会費	680,000	2017年度まで:(未払い0団体) 2018年度: 10,000×68団体(未払い0団体)
	利息	13	
	計	1,949,436	
支出の部			
	人件費	150,000	事務局職員分
	事務委託料(実費)	-	消耗品等事務局負担分
	謝金	30,000	3/16シンポジウム登壇者
	旅費	-	
	会議費	20,000	運営委員会弁当・お茶代
	会場使用料	-	総会・シンポジウム
	HP委託料	120,000	ウェブサイト維持費
	手数料	864	銀行振込等手数料
	計	320,864	
収支差額			
		1,628,572	
繰越金			
		1,628,572	

※人件費・事務委託料は日本教育学会へ支出